



〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350  
TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026 URL http://www.utsunomiya-u.ac.jp  
E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

# NOW

● vol.3

発行：宇都宮大学  
編集：広報室

## CONTENTS

- 1 メディアと遊ぶ 研究の現場から
- 2 特集 スタートしたメディア教育
- 3 座談会「双方向でコミュニケーション、それがメディアの理想形」
- 4 退任にあたって MESSAGE
- 5 SLOW FOOD
- 6 学生アンケート「宇大生は今！」
- 7 INFORMATION
- 8 研究 Keyword

# メディアと遊ぶ

カラス博士  
すぎた  
杉田 昭栄  
しょうえい

## 研究の現場から

### メディアに問う

「カラス博士」の異名で、カラスの研究者としてメディアの脚光を浴びている杉田昭栄教授。テレビなどの情報は、現実の全体像のほんの一角に過ぎない場合が多い。私たちは、杉田教授へのインタビューを通して、どの程度真実を読者に伝えられるかというメディアの難しさに挑戦してみた。(取材・農学部3年 中山未来 / 農学部1年 廣田真人)



#### PROFILE

【すぎた・しょうえい】1952年、岩手県岩手郡雫石町に生まれる。76年、宇都宮大学農学部卒業。82年、千葉大学大学院医学研究科博士課程修了。●研究テーマ(1)動物の中樞神経系の機能比較。(2)動物の視覚機構に関する研究。最近(3)カラスの生体機構と忌避行動に関する研究 ●著書「カラス なぜ遊ぶ」(集英社新書)、「カラスとかしく付き合う法」(草思社)、「カラス—おもしろ生態とかしい防ぎ方—」(農文協)等。●11月27日(日)20:00~21:00 「どうぶつ奇想天外(TBS)」に出演予定。カラスの鳴き声の意味、なぜ群れをつくるかなど解説。

■カラスの体にメスを入れた人  
「歓迎の鳴き声ですよ」。研究室の中庭で気ままに遊びまわっているカラスに杉田教授が呼びかけると、かつて聞いたことのない、ニワトリのような鳴き声でカラスが応えた。まるで飼った猫がじゃれるように教授の差し出す紐を突つく。そこにはギョーギョーと人を威嚇し、畑を荒らし、ゴミを散らす攻撃的なカラスとは、まるで違う鳥の姿があった。

■社会に還元できる研究  
岩手県の農家に生まれ「家の役に立つだろう」と宇都宮大学農学部に入る。しかし、当時の大学はまさに大学紛争の真っ最中であった。

「実験のために飼っていたニワトリがカラスに殺されたんです。これは何とかしなければと思って、カラスの研究を始めたんです。フィールドで生息を研究している人はかなりいますが、体にメスを入れた人はいなかった。例えば、カラスは賢いといいますが、その脳はどうなっているのか、そういった解剖までする研究者がいなかったんです。」

「実は入学式も卒業式も経験していない。授業もなかったから、もう一度自分の進路をリセットして、興味があった「脳」を本格的に勉強しようと思いました。」卒業後、千葉大学大学院医学研究科の博士課程、助手、アメリカ留学を通して、脳解剖・神経解剖学を専門に10年間、脳をテーマとして研究に没頭した。今の研究もその延長線上にある。「動物の脳のどういうところに視る力があるのかなど、目の構造や仕組み、脳の仕組みを実際に解剖して研究してきました。犬やカラスの鳴き声も研究しましたよ。先日はクジラ(ハナゴンドウ)の脳を手に入れました。重さは2kgくらいあるんです。」

「動物の脳は人の脳の重さは1.3kg。他の動物と比較して、どの部分が発達しているかなどを研究します。」次々と語る研究テーマは、動物への尽きることのない興味であふれていた。カラスの研究は、それが、たまたま世の中の要求とマッチしてメディアに取り上げられたという。カラスの研究の副産物が、日常生活レベルのカラス対策の役に立ち、直接社会に還元できる研究となったと話す。

「僕は解剖学の基礎を知っていたから、カラス対策に応用できただけです。大学人として、顕微鏡で見て、基礎的な研究を積み重ねてきたからですね。基礎学があつての応用です。大学は基礎学をないがしろにしてはいけません。ただ、現場にも絶えず目を向けていることも大切なカラス対策のように、目の前の「何故？」を学問にしたら、とてもおもしろい研究ができる。何故って、私と同様に、他の人もそれを知らなかったらいいんですよ。」杉田教授は最後にほのぼのと夢を語ってくれた。「人間の生活が自然のバランスを崩しています。カラスなぜ鳴くの……と、「七つの子」の歌を日本人は口ずさみますが、あのようなどかな風景が見られる世の中をつくりたいですね。自然の一部としてカラスを見られるようになったらいいなあ。これからも、まだまだカラスの研究は続きます。カラスの言葉がわかったら、嬉しいですね。」(文・ヒューズ編集室 / 撮影・柳井 隆)

## スタートしたメディア教育

文章を読み書きする教育は小学校から大学までなされていますが、メディアを読み書きする教育は、日本では始まったばかりです。宇都宮大学のメディア教育を学生が紹介します。

### 「メディア」を読みとる

原油にまみれた水鳥の写真や映像を見たことはありませんか？あれは湾岸戦争の時に撮られたものです。あの映像によって「イラクは悪い奴だ」と大勢の人が思いました。しかし、10年以上経った現在、あれはイラクの仕業ではなかったのではなにかと言われています。過去の戦争報道を、現在あらためて見つめなおしてみることが、その当時では見えなかった情報操作がわかります。過去の戦争報道のされかたを知り、現在の報道に照らしあわせてみると情報操作が見えてくるかもしれません。



映像も含まれており、悲惨さを伝えていきます。ところが、このフィルムは主にナチス自身が撮った映像や写真を使用して制作されました。しかしそれらの映像や写真は、ナチスとは違う立場にいる人間に編集しなおされることになり、全く逆の意味で読まれることになったのです。ニュースやドキュメンタリーは構成されたもの、制作者がある一つの視点から事件や出来事の一部を取捨選択し、つなぎ合わせて、受信する人に伝えていくものなのです。それは現実を反映した「フィクション」にすぎません。メディアの情報は多かれ少なかれ、情報自体を操作する意図を持っています。だからと言ってメディア嫌いになり情報を拒絶してしまうのはマイナス指向です。もともと現実を100%伝えることはできないのです。大切なことはメディアの情報の内容を読み解いて利用することです。こういったことは一般にメディア・リテラシーと呼ばれています。

### メディア・リテラシーの実践

メディア教育と一口に言っても意味するものはさまざまです。今でもパソコンやソフトウェア、インターネットの使い方を学ぶハード面の教育はなされて

きました。それに加えて、ソフト面としてメディアの情報の内容を積極的に読み解き、そして自らも情報発信する能力を養うという教育が始まりました。国際学部では、メディアを多角的な視点から捉え、「ニュース」は本当に現実を伝えているか、といったようなテーマを扱う授業があります（「現代社会情報論」「表象文化論」）。さらに、発信する能力をつけるという目的でパンフレットや映像作品を制作する授業もあります（「視聴覚教育メディア論」）。実際に作品制作を体験してみても、情報が作られるまでの仕組みを知ることができ、またカットのつなぎ方、ナレーション、BGMやテロップといった映像にされている演出に気付くようになります。それは批判的・分析的に映像を見るヒントになります。こういったことをもとにして、グループや個人がさらに独自のテーマを追求し、作品が作られるようになってきています。

これを目的に開かれている授業を紹介します。



教育学部にもいくつかメディア教育に関する授業があり、その中でも特に情報発信の能力を鍛え、自己表現能力を高めるため、実際にパンフレットを制作する授業があります（「社会教育計画」）。学生はまず指定されたテキストの分析や解釈をし、それを参考に今度自分たちで、生涯学習やそのイベントの広報活動のためのパンフレットを制作してみます。完成したら制作者の意図が伝わったかどうか評価しあいます。情報の発信者になり、読み手に伝わるものにするためにはどうするかを試行錯誤する体験は、逆に情報の受信者になったときに役立つと思います。メディアの情報も取捨選択や加工されているものであることを実感できるので、自分なりに批判的に受け止めるようになるからです。

「メディアを読み解くためにはこうしたらいいよ」「こう発信すると意図が伝わるよ」という簡単な結論はありません。またどのようメディアを読み、つきあっていくか、どのように情報を発信していったらいいのか、それはたとえ同じ授業を受けても、学生によって意見や結論は違ってしまう。メディア・リテラシー教育は始まったばかりですが、これらを通じて、つねにメディアに対して問題意識を持つこと、そして自分で考えていくという姿勢を学べるのではないのでしょうか。

## 学生制作作品紹介

メディア教育の授業を受講した学生たちが、実際に制作した作品です。

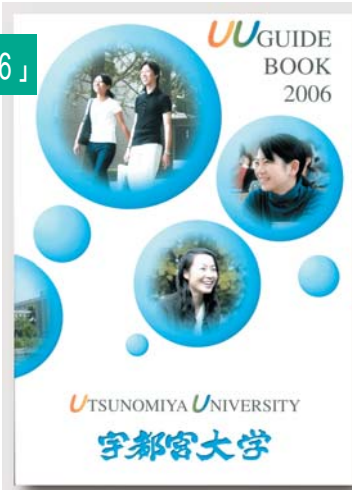
### 「ビデオを撮ろう - 鹿沼市立川上澄生美術館 - 」

国際学部「視聴覚教育メディア論」で2005年度に制作した、美術館紹介ビデオ。映像制作の経験の全くなかった学生たちが4つの班に分かれ、川上澄生美術館をテーマに、美術館を紹介する番組や川上澄生の作品を紹介する番組を制作した。



### 「UU GUIDE BOOK 2006」

主に高校生に向けた、2006年度の宇都宮大学案内。学生が制作に参加し、レイアウトや写真撮影、インタビューを行った。学生生活のイメージを現役学生が伝えるパンフレット。



### 「Free Paper」



教育学部「社会教育計画」で制作したパンフレット。テーマはボランティア活動。フリーペーパー形式で、記事・写真やイラストまで、すべて自分たちの手で作ったもの。ボランティア活動に対する疑問や質問に丁寧に答え、それに興味を持ってもらえるように制作した。

### 「イラクニ接近ス」

国際学部国際社会学科4年生、谷澤社一郎制作。イラク戦争後、混迷のイラクを取材した作品。イラクの様子をマス・メディアの視点からではなく、市民の視点から伝える。

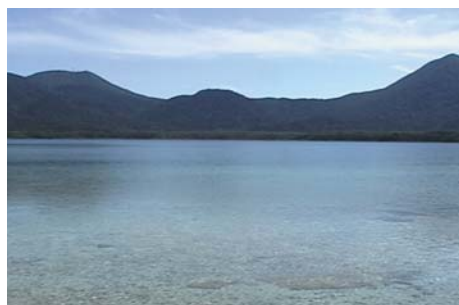
NHKテレビで一部紹介されたほか、自主上映もしており、来春渋谷UPLINKで上映予定。



### 「ひとりで」

国際学部国際文化学科4年生、佐藤つかさ制作。制作者が恐山を訪れたときの映像を編集したもの。恐山は暗く、恐ろしい場所というイメージを持たれているが、明るくて美しい場所であると主張している。

第5回ユース・ショートムービーコンテスト 大林宣彦賞受賞。



## それがメディアの理想形

社会に大きな影響を与えるもの、それがメディア。けれど、一方的に受信するだけでよいのでしょうか。栃木県唯一のテレビ局「とちぎテレビ」から当学にも縁のあるお二人を迎え、学生たちと向かい合っていました。



### 出席者

- 船橋 誠 とちぎテレビ企画編成部係長（宇都宮大学大学院国際学研究所修士課程）
- 阿部由佳 とちぎテレビアナウンサー（宇都宮大学国際学部卒業生）
- 横山琢巳 教育学部生涯教育課程地域社会教育コース4年
- 久保陽平 教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース4年
- 園部美保 教育学部生涯教育課程地域社会教育コース3年
- 司会 佐藤つかさ 国際学部国際文化学科4年

### とちぎテレビは、身近な存在？

今回の座談会のテーマは「メディアと学生」ということで進めたいと思います。制作する側、そしてそれを受ける側、互いに意見をぶつけ合ってください。最終的に、双方の意見の到達点がメディアとの接点に繋がれば、と考えています。

まず、船橋さんはテレビ局に勤めながら、なぜ大学院生になろうと考えられたのですか？

船橋 社会人になって12年が経過しました。いよいよ自分なりに「知」のストックが不足してきつとあると感じたんです。話題を提供する側としては、より多くの情報や知識が必要で、個人のテリトリーが広いほどいいわけです。そう考え、若い世代の人たちと接点をもってみたいになりました。

では、阿部さんに向かいます。どうしてアナウンサーの道を選ばれたのでしょうか？

阿部 もともと、表情を通してコミュニケーションに興味があって、自分の声を使って、人に物事を伝える仕事がしたいと思

ったからです。学生時代はアナウンススクールに通ったり、ラジオ局でリポーターとして経験を積んでいました。

ありがとうございます。さて、船橋さんは接点を持ちたいとおっしゃいましたが、とちぎテレビは県内唯一のテレビ局でも学生は身近な存在だと思っていない気がします。宇都宮の皆さんは、とちぎテレビに対してどのような印象を持っていますか？

横山 どうしても情報や報道番組などは、東京発の番組を見てしまいます。日常の生活になじんでいるのは中央のキー局なので、それが習慣化されているというところでしょうか。船橋 確かにそれはわれわれも感じることで、指向性、つまり心の奥底で求めているものが東京に代表される中央発の情報なんですよね。地元テレビ局があったとしても、中央からの情報が入らないと不安になる人が多いのではないのでしょうか？

では、久保さんは？

久保 スケールに例えるのは変かもしれませんが、キー局が大きな円だとしたら地方局は小さな円なんですね。その意味で、

大きなものを選ぶというのはあります。それと、世代の違いがあるかもしれませんが、年齢を重ねたなら、もっと地元を目を向けるとは思いますが

園部 同感ですね。ターゲットをもっと若い層にも向けてほしいです。私は洋楽が好きなのでとちぎテレビのその時間は好きなんです。じつは見るのはそれだけなんです（笑）。とちぎテレビ、イコール高齢層のテレビというイメージが、若い世代に浸透してしまっているように感じます。

船橋 なるほど。高齢層のテレビ、よく耳にすることですね（笑）。ただ、さきほどの円の話と重なりませんが、それぞれのメディアにはカバーする範囲があります。それは全国放送なのか地域的な放送なのかということや、時間帯によって視聴者の世代が異なるわけですから、その違いによる放送番組、内容の違いや特性に気付いてほしいと思います。現に皆さんも音楽番組だけはチャンネルを合わせているのですから（笑）。宇都宮地区でもこの12月から地上波デジタル放送が首都圏内でも早いタイミングで始まります。メディアを学ぶにはいいタイミングかもしれません。

阿部さんは、他局のニュース番組などは見られるのですか？

阿部 もちろん見ます。そして

地元のテレビ局は中央のキー局と異なり、ローカルらしい小さな話題まで取り上げるのが魅力です。学生の皆さんにも、例えばどこかで「栃木ってどういう県？」と問われた時、うまく説明してほしいですね。

### メディアを利用して発信するには？

いろいろありそうですね。では学生の皆さん、とちぎテレビに魅力を感じるにはどうしたら？

横山 伝える側と受ける側の違いというのには避けられないとは思いますが、もっと情報番組を増やしてほしいですね。ぼくの地元は青森なんです。地元テレビ局で人気が高い番組は、街ネタ的な番組です。そして、やはり若い世代の意見もすく上げてもらえたらと思います。阿部 実はその街の話題もつねにやっているんですよ。例えば、私が担当している「イブニング6」では、地元のお店や県内スポーツなどのコーナーがあったり、ニュースでは事件事故だけでなく、イベントなど身近な話題をお届けしているんです。また、朝には「朝生とちぎ」という番組が、同じようにニュースや情報をお伝えしていますが、そういう認識がされていないんじゃないかな（笑）。

久保 ところで、インターネットや動画編集なども一般的になり、情報は受信だけではなく、個人からの発信という側面において重要になったように思います。

船橋 その通り。自分から行動してメディアをつくってしまっても一案です。現にブログなどは、とても身近になりました。これもメディアのひとつです。受身の姿勢ではなく、自分でつくる。あるいはアイデアや要望を持ち込んだり、発信するもアリ！ではないでしょうか。

園部 それを個人的なレベルにとどまらず、多くの人に向かって発信するとしたら、どこに持ち込めばいいのでしょうか？

船橋 「突撃」でいいと思います。このメディアなら、ケーススタディがないと動けないというのは、ちょっと寂しい気もします。例えば、町の公民館であったり、映像コンクールであったり、規模の大小にかかわらず、まずは発表するのをもひとつの手ではないでしょうか。その結果、口コミなどで話題になれば、新聞・雑誌・テレビなどが取り上げるかもしれません。私はとちぎテレビに勤めています。宇都宮大学の学生が、映像作品を研究したり制作している

と今回初めて耳にしました。まずは「顔」を見せることが必要なのではないでしょうか。園部 確かにそうですね。今の言葉は参考になります。

阿部 それと、もっと実際の現場を学ぶ授業があってもいいと思います。つまり、知らなくて当たり前という感覚で学べるのは学生の特権のような気がします。

実際の現場では、視聴者との接点ってあるのですか？

阿部 そこはおかしいとか、あそこはよかったと伝えてくれる視聴者もいらつやいます。おもしろい指摘され、学ぶこともしばしばです。

船橋 変化の激しい現代で、これこそがメディアというような定義は難しいと考えています。原稿を書く視点、読む視点、それだけでも違います。しかし、生活のさまざまなシーンの中でコミュニケーションの大きなウエイトを占めているのがメディアだということは言えるでしょう。さまざまな情報に任意に能動的にアクセスし利用するということを知ることが、メディア教育の第一歩なのではないでしょうか。

メディアとは一方ではなく双方向であるべき。互いにコミュニケーションすることが大切ですね。勉強になりました。本日は、どうもありがとうございました。



とちぎテレビ企画編成部係長 船橋 誠



とちぎテレビアナウンサー 阿部 由佳



教育学部 4年 横山 琢巳



教育学部 4年 久保 陽平



教育学部 3年 園部 美保



国際学部 4年 佐藤 つかさ

# 宇都宮大学の

## 発展を願って

宇都宮大学 学長

田原 博人



### 宇都宮大学 田原学長 退任記念講演

田原博人学長は、4年間の学長任期が11月末をもって満了いたします。退任記念講演に、ぜひご来場下さい。

日時：11月18日(金) 15:00~16:00  
会場：宇都宮大学教育学部 2101教室  
TEL028-649-5004 FAX028-649-5026  
(事前のお申し込みは必要ありません)

学長室の窓から眺めるキャンパス、日曜日とあって静かなたたずまいの中、一段と秋の気配が深まっている。過去を振り返るのは好きではないが、自分の生き方は何であったのかふと振り返ってみながら、多くの方々に支えられながら充実した時を過ごすことができた感謝する一方、反省も多い。

の全体像は見えにくいかもしれないが、学生が主体的にかかわるうとすれば、多様な仕組みが皆さん方を支援するようになってきました。後は、皆さん方がどう効果的に生かすかです。皆さん方の未来に大いなる期待をもちたい。そのためには大学で多くを学んでほしい。

学生に対しても、学外者に対しても、そしてお互いに対してもです。その方が遥かに充実した時間を送れるのではないのでしょうか。

最後に  
在職中は、大学の多方面にわたる改革に取り組みました。保護者の皆さんや同窓生の皆さん方には、ご寄附をはじめ、様々なご協力を頂きありがとうございました。皆さん方の大きな力が、大学の支えでもあります。今後ともよろしく願っています。

### ■学生の皆さんへ

以前から、学生の教育や自主活動に対して、大学・学部としての組織的な支援が弱いことが気懸かりでした。学長になって進めるべきことは、大学教育の改善と学生活動の支援の推進でした。大学が進めてきたこれら

授業は学生と教員とで創っていくものです。学生が授業に真剣になれば教員も真剣になります。教員の説明を受けたからわかるのではなく、わかるうとするからわかるのであって、受け身であってはなりません。

■社会の多くの皆さんへ  
学長になって心がけたもう一つは、大学を社会に開くことでした。大学は閉じていないはずなのにというの、大学側の論理で、外の立場に立てば、大学が開いて待っているのでは開いたことにはならないと気づかされました。もちろん、大学側の努力では限界もありました

私にとって、教育も大学運営も、そして社会貢献もすべてが研究の対象であり、常に新しいことへの挑戦でした。そして生き方としては、「そういう人になりたい」という気持ちを持ち続けたいと思いつつ、締めくくりとします。

### ■教職員の皆さんへ

多くの改革を進めていく中で、皆さん方には忙しい思いばかりだったかもしれません。ご苦労さまでした。常日頃言っていたことですが、お願いしたいことは、他者の立場に立って自分とその仕事を見直し、それが、大学の発展にとってよりよい判断

「地域の学び、地域に返す、地域と大学の支え合い」、そして、「キャッチフレーズ」豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ「宇都宮大学」は、これからの本学の目指す方向であり、地方国立大学の在り方の本質だと思います。

「喜びと悲しさ、どちらを選ぶか」と問われれば、悲しさを選びたい。悲しさが多ければ、それだけ優しくなれるから。苦しさが多ければ、それだけ勇気がわいてくるから。「成功と失敗、どちらを選ぶか」と問われれば、失敗を選びたい。



学長

謝されることをしたいものです。

「成功と失敗、どちらを選ぶか」と問われれば、失敗を選びたい。

「成功と失敗、どちらを選ぶか」と問われれば、失敗を選びたい。

# 法人化は大学の心を一つにする

## 絶好のチャンス

宇都宮大学 理事(学務担当)・副学長

太田 周



この1年半余を振り返って、大切なことを見逃していません。かという一抹の不安が残ります。東奔西走の忙しさにまみれて、南船北馬の牧歌的な余裕と自由度が欠けたかもしれないという反省があります。画の中の人の為せる業は、さまざまご批判はあろうが、ご協力いただいた教職員・学生・学外の関係者の皆様に感謝申し上げ、今はお許し願うしかありません。

さて、宇都宮大学の教育・研究のことです。法人化後、大学の教育費も科学研究費などのように「競争的な環境」にさらされることとなりました。教育も研究も挑戦なくして対価なし、という自己主張と実践の成果が問われることとなりました。大学の使命は、いうまでもなく知的文化を創造し、継承し、活用することです。

考えてきました。しかし知的文化を磨き活用するために、文化の創造と継承にはこの活動は不可欠で、社会貢献は言葉で大学の義務です。別な言葉でいえば、大学は誰のためにあるのか、という国民・市民からの問いにこたえる説明責任が問われています。大学と社会が支え合い、学生と教職員・市民がともに学びあう大学、これはポロニーアの学びを志す市民の組合、すなわちユニバシティ発祥の語源であります。意識改革と実践が不可欠です。法人化は大学の心を一つにする絶好のチャンスです。

紙幅が過ぎました。最後にこの緑豊かな美しい学園に相応しい、宇都宮大学の個性と特徴を持った教育研究の創出と進展を祈念いたします。

# 思い出と期待

宇都宮大学 理事(財務担当)・副学長

高橋 弘



昨年4月、民間企業より母校に赴任し、1年8ヶ月が過ぎ、任期を終えることになりました。

34年ぶりに宇都宮に来てまず驚きましたのは、駅東地区のビルラッシュであります。確か当時は操車場越しに宇大の学舎が見渡せましたのが一変してあります。当時は水田が広がって蛙の合唱を聴きつつ、家庭教師先に自転車を走らせたのが今でも思い出されます。また宇大構内は街道沿いの大きく成長したヒマラヤスギや赤煉瓦で覆われた農学部校舎など、アカデミックさを増しましたが、昔のままのフランス式庭園や旧講堂、そして

いつも通った飲食店には安堵すら抱きました。

赴任当時、強く要請されました企業会計の手法の導入や予算執行の透明性の向上、効率の執行等、課題は山積みでしたが職員等の努力により、執行管理のアカウンタービリティも高まり、また経費削減を踏まえた予算の重点投資などが初年度にできましたことは、他大学に負けない大きな成果といえます。

特に旧講堂の課外活動利用が新施設の整備と共に移行できましては、学生のみならず全

法人化は大学の心を一つにする絶好のチャンス

法人化は大学の心を一つにする絶好のチャンス

法人化は大学の心を一つにする絶好のチャンス

法人化は大学の心を一つにする絶好のチャンス

法人化は大学の心を一つにする絶好のチャンス



## 中山かぼちゃ 失われゆく烏山の貴重な食材

若い皆さんは、秋のカボチャといえば、ハロウィーンでのカボチャのお化け、を連想されるかもしれませんが。カボチャは、皆さんも良くご存知のように、代表的な野菜食材として、煮物や天ぷらといった和食だけでなく、スープやプリン、シフォンケーキなどの洋食にも使われています。そのまま湯がいて食べるだけでも、シンプルですが、意外とおいしいものです。

栃木県からずやまの烏山（那須烏山市）には、とてもおいしいカボチャを生産しているところがあります。今回のスローフードの紹介は、烏山のブランド食材、中山かぼちゃの紹介です。

栃木県の北東部に位置する烏山は、450年の伝統を誇る日本一の有名な野外劇「山あげ祭」（毎年7月末催）手すき和紙として伝統のある烏山和紙を買ったり作ったりできる「烏山和紙会館」、那珂川の清流の名物あゆ料理を食べることができる「観光やな」などがあり、観光地として面白いところです。さらに、棚田百選に選ばれている那須烏山市国見地区と茂木町石畑地区の棚田にも近く、烏山周辺では、宇都宮で味わえない栃木の自然を満喫できると同時に、四季を通じて綺麗な写真を撮ることができます。



烏山中山地区での中山かぼちゃの生産

このような栃木独自の豊かな自然に囲まれた烏山には、北部に開拓農地の中山地区があります。開拓当時の中山地区では、商品作物として、その土地に合わない作物であるといわれているタバコ、ムギなどが栽培されていました。そのような中山地区で、30年ほど前に、同地区の婦人部（当時）が、その土地で細々と栽培されていた品質の良いカボチャに目をつけて、積極的な生産と販売を始めたのが、中山かぼちゃのブランド食材としての始まりです。

皆さんもご存知のようにカボチャにはいろいろな種類があります。中山かぼちゃの特徴は、まずその見た目にあります。まるでラグビーボールを縦に少しだけ押し縮めたような縦長で、しかも表面には光沢があり、白い縦じまが入っています。その中身はというと、果肉は程よくしまり、他のカボチャと比べて繊維質が少なく、茹でるとホクホクしています。また、表皮が薄く、表皮との境目まで内部と同じ果肉になっているの

が特徴です。過去の宇都宮大学農学部での調査では、カロチン含有量が他のカボチャと比べて3倍近くもある結果が出ています。このような理由から、中山かぼちゃは、高品質な烏山独自のブランド食材として位置づけられています。この中山かぼちゃの販売期間はとても短く、7月中旬から8月中旬までの、まさに山あげ祭りが行われるころにしか入手できない貴重なカボチャなのです。



生産者の羽石さん、カボチャの表面がピカピカ！

このように、中山かぼちゃは「地域に根ざした貴重な食材」（スローフード）であるにもかかわらず、生産量の推移をみると、昔に比べて減少しています。その理由は、中山かぼちゃの生産には、今も昔も大変な苦労があるからです。

中山かぼちゃは、誰が作ってもよい農産物ではありません。昔から、中山かぼちゃの生産部会を組織し、その内部で生産や種苗の管理を行ってきました。現在の生産者42名は、全てJA那須南の中山かぼちゃ部会の所属です。中山かぼちゃは、在来種で品質に優れたカボチャを、種を変えないように維持し、ブランド化を図ってきたものです。そのため、中山かぼちゃ部会以外の人は、種も苗も、入手できないようになっています。原種は県試験場が保有し、種はJAの栃木育苗センターで厳重に管理しているそうです。15年ほど前から本格生産を開始し、現在は「ニュー中山かぼちゃ」という改良品種を、地元の中山かぼちゃとして生産、販売しています。

このように中山かぼちゃがブランド食材として生産されているのなら、多くの人々が知っていてもおかしくありません。しかし、栃木県の人でさえも中山かぼちゃのことをほとんど知らないのが現状で、限られた食通の人にしか知られていないのです。その理由は、耕作面積7ha、出荷量50tの規模からくる、出荷量の少なさにあります。そのため、中山かぼちゃの主な出荷先は、宇都宮の市場だけとなっています。また、わずかですがJA那須南に問い合わせた消費者へ、宅配で直接送っています。消費者に送られる宅配用の中山かぼちゃは、主に贈答用で、2つを1箱に詰めたものが一般的で、2.0～2.5kgが1500円程度（送料別）だそうです。一般的に我々が購入する農産物は、工業製品と同じで、安定供給、大量供給が基本となります。中山かぼちゃは、もともと生産量が少なく、出荷時期も7月中旬から8月中旬までと、かなり限定されます。そのため、宇都宮市場だけの出荷と、わずかの消費者に対する販

売を行うのが限界で、普通の農産物のように、大きな市場に出荷することが困難なのです。

さらに、最近では生産量が増えず、むしろ減少している理由は、後継者不足とともに、栽培方法の難しさにあるようです。長年中山かぼちゃの生産に携わってこられた羽石さんによると、中山かぼちゃは栽培が難しいわがままな品種だそうです。理想では1本のツルから2つの中山かぼちゃを収穫したいのですが、肥料窒素の量を間違えると、実がつく花が落ちてしまいます。連作障害を回避するために、同じ圃場で続けて栽培するのは困難で、コンニャクなどを使って中山かぼちゃとかわるがわる栽培しなければなりません。中山かぼちゃの見た目を良くするためには、実がついたら、大きくなる前に麦の敷き藁などを実の下に施します。中山かぼちゃの熟度判定には、ブランド食材として外観を傷めないように、皮の硬さを測ることが必要です。収穫後は、光沢のある表面を確保するために、収穫後の中山かぼちゃを洗濯機のモーターを動力利用したブラシで磨きをかけます。さらに光沢が出ていない部分については、手作業で、亀の子タワシで擦って、一つずつ丁寧にツヤを出します（中山かぼちゃの光沢を、手作業で、しかもタワシで擦って出すというのは驚きでした……）。

羽石さんは、中山かぼちゃがブランド食材として多くの人に受け入れられる絶対的な自信を持っています。しかし、生産者も生産量も少なくなり、生産者の平均年齢は70歳ほどです。貴重な生物種が環境の変化によって失われていくのと同じように、貴重な中山かぼちゃのような食材もまた、世の中の動きによって失われているのが現状です。もし仮に、生産者が全ていなくなれば、中山かぼちゃは、種の姿で県試験場に保管されるだけとなります。種が保存されていれば、いつでも復活できるという考え方もあります。しかし、生産者がいなくなるということは、現場での口伝えでなければ伝承しない細かな栽培技術の消失につながります。また、中山かぼちゃが栽培されなくなるということは、烏山の豊かな自然で支えられている中山地区の環境の消失にもつながりかねません。中山かぼちゃの生産維持は、まさしくスローフードの理念であり、大学を中心として取り組むべき一つの課題であると考えられます。最後にお得な情報です。中山かぼちゃの種苗は、部会員以外は門外不出で、我々は自分の畑で作ったりできないのかというと、そうでもないようです。羽石さんの話によると、中山かぼちゃを買えばもちろんその中には種が入っていますので、それを撒いて上手く育てれば、あなたの庭にも中山かぼちゃができるそうです（もちろん売ることではできません！）。

## 福田夫佐さんの おいしい「中山かぼちゃ羊羹」

福田夫佐さんに、中山かぼちゃを使った羊羹の作り方を教えていただきました。夫佐さんによると、かぼちゃは夏に収穫されますが、常温または冷凍で保存して冬至にも食べたりするという事です。いただいた手作りの「中山かぼちゃ羊羹」は、絶品でした。ちょっと「若い人向け」には、ラム酒漬けのレーズンを入れるとおいしいそうです。



ラム酒漬けレーズン入り「中山かぼちゃ羊羹」

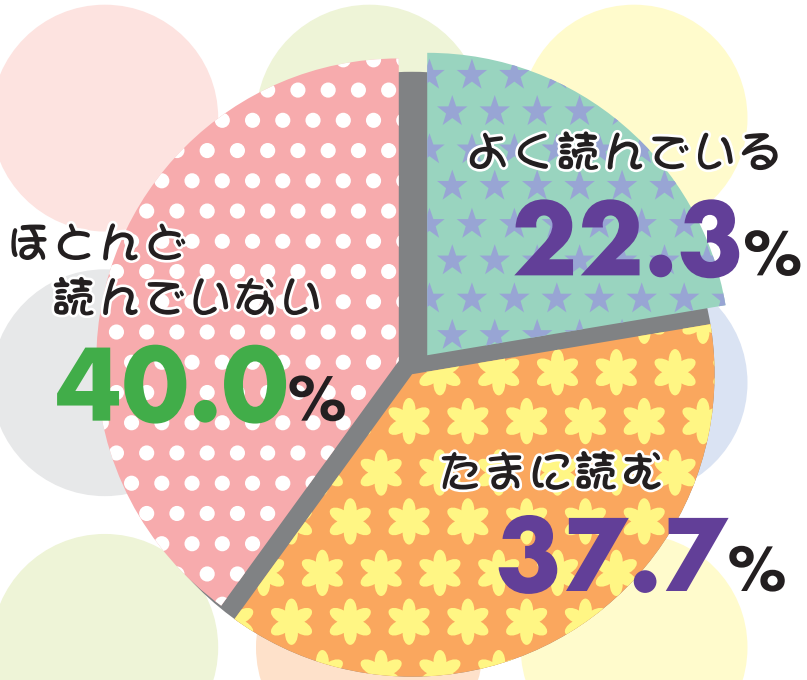
【材料】4人分

中山かぼちゃ(種抜き)	300g
砂糖	180g
寒天	2本
水	2カップ
牛乳	3カップ
生クリーム	200cc
ラム酒レーズン	適量

【作り方】 寒天を水に浸しておく。  
中山かぼちゃは、種と皮を除いて蒸し、よくつぶしておく。  
寒天を2カップの水で煮溶かし、こしてから、砂糖、かぼちゃ、牛乳、生クリーム、ラム酒レーズンを加え、型に流す。  
冷めてから切り分ける。

レシピ協力

那須南農業協同組合烏山営農経済センター中山かぼちゃ部会



Q 新聞はどのくらい読んでいますか？

「よく読んでいる」が22.3%、「たまに読む」が37.7%と、読んでいるという人は60%、「ほとんど読んでいない」が40%という結果になりました。「ほとんど読んでいない」という学生が40%という結果の理由としては、「新聞をとっていない」という学生がいるということだと考えられます。

新聞は最新の情報を得られる大きな手段の一つです。大学でも図書館や大学会館で新聞を読むことが出来ます。テレビやラジオもいいですが、ぜひ新聞に目を通してみませんか？その1日のあなたにとって必要な情報がきっと得られますよ。

## 宇大生が最近観た！ 映画ランキング

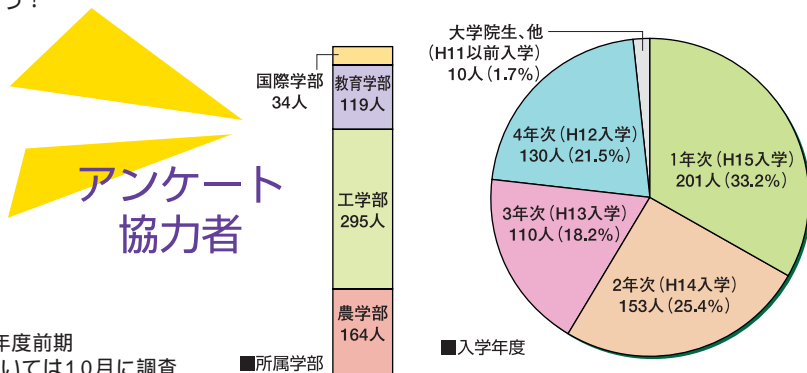
- 1位 チャーリーとチョコレート工場
- 2位 容疑者室井慎次
- 3位 シンデレラマン
- 3位 世界の中心で愛を叫ぶ
- 3位 NANA
- 6位 ファンタスティックフォー
- 6位 コンスタンティン

### コメント

ダントツ1位は『チャーリーとチョコレート工場』でした。私も見ましたが思いっきり笑って楽しめる映画でした。ストレス解消にもいいかもしれませんね。ランキング外では、「機動戦士Zガンダム」「北の零年」「タッチ」などがありました。 文・農学部3年 中山未来 / 農学部1年 廣田真人

## 読書のススメ

現在、宇都宮大学生協では、『読書マラソン』という企画を行っています。本を読んで、専用のカードに感想などを書くだけ！まずは生協サービスカウンターでエントリーしてくださいね。10冊読むと、文庫新書15%off券をプレゼントしています。また生協の組合員であれば、組合員証提示で、全書籍10%offになります。みなさん、この機会にたくさん読書を楽しみましょう！

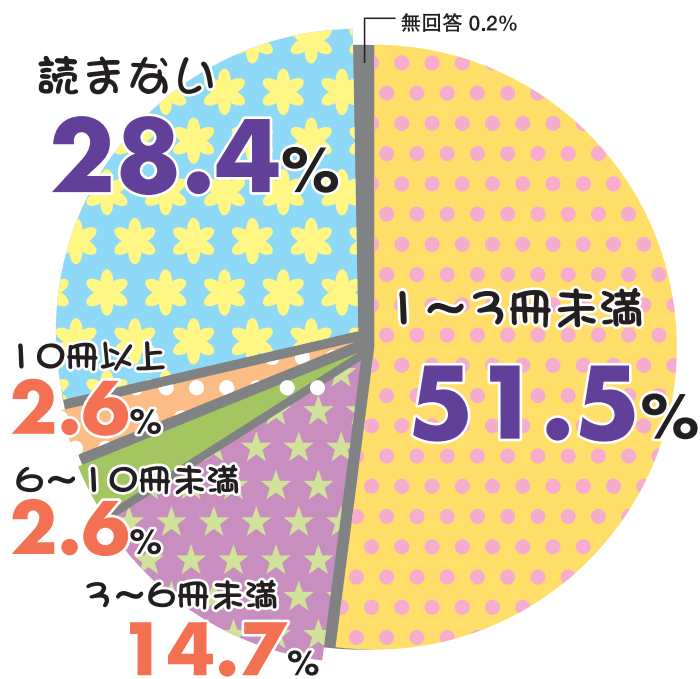


調査日：平成17年度前期  
映画については10月に調査

# 学生アンケート 宇大生は 今!!

### はじめに

秋も深まり、寒い冬がだんだん感じられるようになってきましたね。みなさんは『秋』といえば何を思い浮かべますか？大学生なら……、『読書・芸術の秋』ですよ！ということで、今回も『宇大生の今!!』を探ってみましょう!!



Q 1ヶ月どのくらい本を読む？

「1~3冊未満」が51.5%で一番多く、次いで「読まない」が28.4%、「3~6冊未満」が14.7%でした。最近の大学生は本を読まないと言われていますが、70%の宇大生は月に1冊は読んでいるという結果になりました。

秋には様々な秋がありますが、『読書の秋』とも言われます。本を読んでいるという人はもう1冊多く、読んでないという人はまず1冊読むことを目標に……今秋はもっとたくさん本を読んではいかがですか？

## 生協店舗オススメ本

### アインシュタイン特集

(様々な本を用意しています)

### 美人の日本語

著者 山下景子  
出版社 幻冬舎

### 東京タワー

~オカとボクと、時々、オト~  
著者 リリー・フランキー  
出版社 扶桑社

※店舗にない場合はお取り寄せできます。

## 第57回 峰ヶ丘祭

## テーマ ねん じゅう む きゅう 年中夢求

日時：11月20日(日)～23日(祝) 10:00～18:00

場所：宇都宮大学峰キャンパス

【企画】入試相談コーナー 20日・23日10:00～16:00  
 「どっちの演技SHOW!!」(一般企画) 20日12:30～13:30  
 国際交流「ユネスコの誕生と世界遺産」20日13:00～13:50  
 「世界遺産の現在と未来 日光&慶州」20日14:20～16:00  
 「クイズ!宇大生に聞きました!」(一般企画) 20日15:00～16:00  
 アーティストライブ:「アンダーグラフ」 20日18:00～未定  
 「チキチキピンゴ大会」(一般企画) 20日～22日17:00～18:00(延長あり)  
 23日(最終日)16:30～17:30  
 MUSIC FESTIVAL 21日10:00～16:30  
 「宇都宮吊り天井!」(サークル対抗) 22日11:30～13:00  
 討論会:「地域社会とワークショップ」 22日13:00～14:30  
 「かぶらない王選手権」(一般企画) 23日11:30～12:30  
 お笑いライブ「二丁拳銃」と「ダイノジ」と「佐久間一行」23日15:00～16:30  
 「ロバート香港」(一般企画) 20日～22日17:00～18:00 時間・神出鬼没  
 「スタンプラリー」(一般企画) 毎年恒例 連日開催  
 狂言鑑賞会 狂言師:善竹 十郎(人間国宝) 23日10:00～11:50

日頃、夢を忘れていた人に対して、自分の夢をまた再び追求めるきっかけとなれば、そしていまだ夢を持っていない人もこの峰ヶ丘祭を通して自分自身の夢を見つけてもらいたい、というのを願ひ、私たちはこのテーマに決定しました。私たちが目指す理想の峰ヶ丘祭というのは、来ていただいたお客様に楽しんでもらうだけでなく、自分の中で新しい「何か」を発見してもらうことです。私たちは今回のテーマ決定により、「何か」というものを「夢」という具体的なものとして取り上げることにしました。

宇都宮大学大学祭実行委員会事務局 TEL 028-634-5877

## 学 校祭「ふれあい祭り」

宇都宮大学教育学部附属養護学校  
- 学校祭「ふれあい祭り」 -

【内容】 作業品販売・ゲームコーナー・模擬店  
手づくり品販売 他

**入場無料**

日時：11月26日(土) 9:20～14:15

場所：宇都宮大学教育学部附属養護学校

お問い合わせはこちらまで  
宇都宮大学教育学部附属養護学校  
宇都宮市宝木町1-2592 TEL 028-621-3871

## 展 示会&講演会

附属図書館「旧植民地関係資料室」  
開設記念展示会&講演会

企画展示 戦後60年、資料で見る「満洲」  
宇都宮高等農林学校時代の図書や雑誌・掛け地図を  
中心に展示

日時：11月20日(日)～12月22日(木) 9:00～17:00

場所：峰キャンパス附属図書館本館3階閲覧室

記念講演会「満洲」と関係資料

**入場無料**

講師：宇都宮大学国際学部教授 伊藤一彦

日時：11月23日(祝・勤労感謝の日) 13:00～15:00

場所：峰キャンパス附属図書館本館3階会議室(当日受付可)

お問い合わせはこちらまで  
宇都宮大学図書館利用者サービス係  
TEL 028-649-5135

E-mail tossanko@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

## 立釜慶大学との ユネスコ・大学生交流プログラム

「世界遺産都市間の文化的交流：持続的文化都市形成を目指して(日光と慶州)」をテーマとした学生交流プログラム(11/16～30)の中で記念講演・シンポジウム、特別講演を公開します。

**入場無料**

11月20日(日) 13:00～13:50

第1部 記念講演

「ユネスコの誕生と世界遺産」

講師 宇都宮大学教授 宮崎冴子

第2部 日韓交流シンポジウム 14:00～16:00

世界遺産の現在と未来 - 日光と慶州 -

シンポジスト

東国大学校博物館研究員 チョ・チェンヨン 氏

日光ユネスコ協会会長 高橋正夫 氏

宇都宮大学教授 佐々木史郎

コーディネーター 宇都宮大学教授 宮崎冴子

11月23日(祝) 10:00～12:00

特別講演「狂言の笑いと人間のこころ」

講師 大蔵流狂言方・能楽師・重要無形文化財総合指定保持者 善竹十郎 氏

場所：宇都宮大学峰キャンパス 大会館多目的ホール

主催：(財)ユネスコ・アジア文化センター 宇都宮大学国際学部

協力：宇都宮大学ユネスコクラブ

お問い合わせはこちらまで

宇都宮大学国際学部事務部総務係 TEL028-649-5164

## E COシンポジウム

地球の声が聞こえますか

さあ!身近なことから地球環境を考えよう!

ハーブ演奏 金田久美子氏 13:15～13:25

第1部 記念講演

女優・声優

大山のぶ代 氏

**入場無料**

第2部 シンポジウム

シンポジスト

フェリス学院大学学長・元日本環境学会会長 本間 慎 氏

宇都宮大学理事・副学長・元(株)三菱総合研究所研究理事 高橋 弘

大阪府立大学総合学部自然環境科学科3年 島田紗季 氏

コーディネーター

宇都宮大学教授 宮崎冴子

日時：12月10日(土) 13:30～16:00(開場13:00)

場所：宇都宮大学峰キャンパス 大会館多目的ホール

お問い合わせはこちらまで

GENKIとちぎ TEL 028-653-2515

## 金 曜イブニングセミナー

「機能性食品」

花王の健康飲料「ヘルシア」や健康食品「エコナ」の開発の裏話や、「花王のものづくり」の考え方をわかりやすく講演していただきます。

**受講料無料**

講演：花王株式会社 生物科学研究所長 武馬吉則氏

日時：11月25日(金) 17:30～19:00

場所：宇都宮大学工学部 アカデミア・ホール

講演会後、生協にて懇親会(有料¥1,000)を開催

お問い合わせはこちらまで  
宇都宮大学地域共生研究開発センター広報室  
TEL 028-689-6316

E-mail yamamura@cc.utsunomiya-u.ac.jp

## 卒業研究・修了研究 公開発表会

平成17年度宇都宮大学教育学部音楽教育専攻  
大学院教育学研究科修士課程音楽教育専修

日時：2006年2月11日(土) 時間未定

場所：宇都宮市文化会館小ホール

**入場無料**

お問い合わせはこちらまで

宇都宮大学教育学部音楽教室

TEL/FAX028-649-5357

e-mail:music@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

## 修了・卒業制作展

平成17年度 宇都宮大学教育学部美術教育専攻  
大学院教育学研究科美術教育専修 修了・卒業制作展

【内容】 絵画、彫塑、デザイン(インテリアデザイン・ベーシックデザイン) 工芸(漆・染)等約50点

期日：2006年2月24日(金)～26日(日)

場所：栃木県総合文化センター

ギャラリー

**入場無料**

お問い合わせはこちらまで

宇都宮大学教育学部美術教育教室

TEL 028-649-5360 / FAX 028-649-5244

## 定 期演奏会

宇都宮大学マンドリンクラブ  
第35回定期演奏会



【曲目】 Time say goodbye  
星に願いを Life beat 他

日時：12月10日(土) 開場17:30 開演18:00

場所：栃木県総合文化センターサブホール

主催：宇都宮大学マンドリンクラブ

入場料：¥500

お問い合わせはこちらまで  
宇都宮大学マンドリンクラブ(坂本)

TEL 090-9901-5129

E-mail u--manbow@c.vodafone.ne.jp

## 定 期演奏会

宇都宮大学管弦楽団 第60回定期演奏会

【曲目】 P.I.チャイコフスキー スラヴ行進曲op.31  
L.ドリーブ バレエ音楽「コッペリア」より  
L.v.ベートーヴェン 交響曲第3番変ホ長調op.55「英雄」

日時：12月17日(土) 開場17:30 開演18:00

場所：宇都宮市文化会館大ホール

指揮：和田朋樹 氏

入場料：一般¥800 高校生以下¥500(全席自由)

主催：宇都宮大学管弦楽団

後援：宇都宮市・宇都宮市教育委員会・(株)エフエム栃木・(株)栃木放送

下野新聞・NHK宇都宮放送局・朝日新聞宇都宮総局・(株)とちぎテレビ

宇都宮大学生協峰店他、市内プレイガイドにてチケット取り扱い

お問い合わせはこちらまで

TEL 080-1821-8193(鈴木)

TEL 090-8381-7056(江見)

http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Cafe/7147/

## 定 期演奏会

宇都宮大学混声合唱団第39回定期演奏会

【曲目】 Beata es Virgo Maria/Ave Maria /作曲Philippe Verdelot  
Ave Maria /作曲Thomas de Victoria  
無伴奏混声合唱のための7つの子どもの歌 /編曲 信長貴富  
舞台のためのカンタータ「鼠たちの伝説」  
/台本・作詞 佐藤信 /作曲 林光

**入場無料**

日時：12月28日(水) 19:00開演

場所：栃木県総合文化センターメインホール

整理券あり

お問い合わせはこちらまで

宇都宮大学混声合唱団(高橋)

TEL 090-6129-3600

http://musica.dip.jp/uumc/

# 研究 Keyword

## LRTとまちづくり

工学部教授 古池弘隆



PROFILE  
東京大学工学部土木工学科  
卒業 / 米国ワシントン大学  
博士課程修了 / 専門分野：  
交通計画、都市計画



宇都宮のLRTの計画路線案

自動車はとても便利で魅力的な乗り物です。しかし、その便利さに私たちの生活はますます自動車に依存するようになり、その結果さまざまな問題が起これています。特に地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の約2割は自動車から排出されており、世界的規模で増加し続けている自動車の前には、今年2月に発効した京都議定書の目標が達成できるかどうかおぼつかない状況です。

街の様子も変化してきています。宇都宮市のオリオン通りを歩く人の数は年々減少しており、都心部の商店街はシャッターを下ろした店が増えていきます。昭和30年代から始まった日本のモーターゼーションの結果、住宅は郊外に低密度に広がり、それを追いかけるように、大規模なショッピングセンターが郊外に続々と立地しているためです。このような中心市街地の空洞化現象は多くの地方都市で深刻な問題となっています。

一方、自動車による交通事故が増加しつづけており、特に高齢者の事故の増加が目立っています。昨年は全国の交通事故による死者数の4割以上が65歳以上の高齢者でした。今後いっそう進展する高齢化社会で、自分で車を運転できなくなった高齢者の移動手段の確保は重要な課題です。残念なことにも多くの地方都市ではますます自動車への依存度を高めており、公共交通は衰退し続けているのが現状です。かつては公共交通の代表として、全国で65の都市にあった路面電車は自動車交通の邪魔だといわれて徐々に撤去され、現在残っているのはわずか17都市にすぎません。またバスの利用者も減少する一方で、多くの路線が廃止に追い込まれています。

交通渋滞も深刻で、宇都宮の東部にある工業団地への通勤混雑は悪化する一方です。渋滞緩和のために道路や駐車場を増やせばいいという意見もありますが、新しく道路が

つくられると、それまで車の使用を控えて公共交通を利用したり、外出をあきらめたりしていた人々が車を使い始めるため、かつて前より渋滞がひどくなるという矛盾した現象が生じます。このことは理論的な学説として60年代頃から知られていましたが、近年では多くの事例で実証されています。

交通渋滞や交通事故を減らし、都市を再生していくには、自動車の過度の利用を減らし、公共交通機関の利用を促進することが最も効果的な方法です。最近新聞紙上でLRTという言葉がしばしば目にします。LRTとは、ライト・レール・トランジットの略で、次世代型路面電車のことです。レールの上を走行するため、信頼性や安全性が高く、車体の床が低いために車椅子でも乗降が可能で、高齢者や身障者にやさしく、環境の面から見ても優れた乗り物です。また建設費も地下鉄の10分の1、モノレールの5分の1しかかかりません。このため、1978年にカナダのエドモントンで最初に導入されて以来、欧米の多くの都市でLRTの建設ラッシュが続いています。

さて、わが国の実情はどうでしょうか。残念ながら新たにLRTを導入した都市はまだありません。宇都宮市は、一人当たりのガソリン消費量が日本で一番多い自動車依存都市です。その宇都宮で今、日本で最初のLRTを導入しようという計画が進んでいます。ほかに多くの都市で同じようにLRTを導入したいという動きがありますが、なかなか実現には至っていません。その大きな障害は、財源や

採算性の問題です。自動車のための道路は次々につくられているのに、公共交通機関であるLRTは、採算が取れないという理由から建設が進まないのです。欧米では、公共交通は重要な社会インフラであり、収益性を追求する事業ではないという基本認識があります。このため、建設費はかりでなく、運営費に対しても公的支援がなされ、その補助率は70%に達するほどです。都市を建物にたどって見ますと、高い建物には必ずエレベーターがついています。都心を高層ビルを横に倒したようなものだと考えますと、LRTは都市における水平エレベーターの機能を果たします。エレベーターに乗るのにお金を取ることはありません。現に、アメリカのポートランドやシアトルでは都心の公共交通はすべて無料で、ロサンゼルスやヒューストンでは一日乗り放題の乗車券がわずか2.3ドルです。このように運賃が安く便利なLRTは、多くの人々に利用されています。都心に人々が集まれば、空洞化が進んでいる中心市街地に再び活気を取りもどすことができます。このようにLRTが街を変える有効な手段となり得ることは、多くの欧米の都市の例でも明らかです。

宇都宮をはじめ日本の都市は、これまでのように自動車依存を続けて、交通渋滞や交通事故、空洞化した都心部を抱えたまましていくのか。それとも欧米の多くの都市のように、LRTなどの公共交通と自動車共存する人や環境に優しい都市に生まれ変わるのか。21世紀の高齢化社会における住みやすいまちづくりに向けて正しい選択が出来るようにみんなで考えていく必要があると思います。

### だいこんサミット2005

—だいこんの魅力にせまる—

参加費無料

日時: 11月26日(土)13:00~17:30  
会場: 宇都宮大学 大会館 多目的ホール

■基調講演  
「大根加工法の品種選択と技術変遷について」  
宇都宮大学名誉教授 前田 安彦

■講演  
1. 「アブラナ科野菜で生活習慣病を予防しよう」  
宇都宮大学農学部 橋本 啓  
2. 「甞るあまからびん 親田辛味大根」  
長野県下條村親田辛味大根生産組合代表 古田 一比亨氏  
3. 「地大根復活作戦 ねえてぶ花作り大根」  
山形県長井市ねえてぶ花作り大根 遠藤 孝太郎氏

■展示・ポスター説明会: 大根品種・加工・調理および各種資料  
主催 だいこんサミット実行委員会/共催 宇都宮大学農学部アグリ支援機構

連絡先 宇都宮大学農学部 房 相佑  
TEL 028-649-8641 E-mail bang@cc.utsunomiya-u.ac.jp

## UU Now

学園祭も間近、UU Now第3号をお届けします。

インターネットの普及とともにメディアとのつきあいが大きく変わってきました。本学にはメディアからアプローチを受ける研究者もいる一方、メディアへのアプローチを学んでいる学生も多くなります。そして、本紙はメディアとしてのアプローチを試みている次第です。そこで本号では、ちょっと違う視点からメディアとのつきあいを考えてみました。もっとメディアを考えてみたい方、必見です。

なお、創刊号で登場いただいた田原学長が11月末をもって退任します。同じく任期を終えらる理事お二人にも登場いただき、一文を寄せていただきまして、お三方の思いを今後とも引き継いでいきたいと思っております。

編集長 吉田和文(理事)

企画・編集 宇都宮大学広報室  
UU Now第3号編集委員

編集後記  
2005 Autumn

企画・編集 宇都宮大学広報室  
UU Now第3号編集委員

編集長 吉田 和文 理事  
編集委員 佐藤つかさ 国際学部4年  
中山 未来 農学部3年  
廣田 真人 農学部1年  
石浜 昌宏 国際学部教員  
廣瀬 隆人 生涯学習センター教員  
池田 良造 農学部教員  
野口 治 工学部教員  
國府田 正憲 総務部職員  
田崎 正憲 総務部職員  
五月女優子 総務部職員  
久野 貴史 総務部職員  
松本 博 学務部職員  
茂木 博 学術研究部職員

広報室では、皆様の声をお待ちしております。ご意見・ご要望などをお寄せください。

【宛先】  
宇都宮大学 総務部 総務課 企画広報係  
〒321-8505 宇都宮市峰町350  
TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026  
E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

uu laboratory